平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場会社名　理研ビタミン株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4526　URL　http://www.rikenvitamin.jp/
代表者　(役職名) 取締役社長　(氏名) 堺　美保
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営企画部長　(氏名) 山下　隆　TEL 03-5275-5111

四半期報告書提出予定日　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	57,338	2.2	2,900	24.0	3,012	16.2	1,859	42.6
24年3月期第3四半期	56,131	△4.9	2,340	△50.1	2,591	△45.9	1,304	△39.7

(注)包括利益　25年3月期第3四半期　2,949百万円　(244.6%)　24年3月期第3四半期　856百万円　(5.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	82.08	―
24年3月期第3四半期	57.55	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	90,594	58,597	64.1
24年3月期	86,524	56,363	64.8

(参考) 自己資本　25年3月期第3四半期　58,112百万円　24年3月期　56,026百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	18.00	―	18.00	36.00
25年3月期	―	18.00	―		
25年3月期(予想)				18.00	36.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	78,000	3.5	3,700	44.1	3,800	34.0	2,200	55.4	97.09

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ： 有
（注）詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 有
② ①以外の会計方針の変更 ： 無
③ 会計上の見積りの変更 ： 有
④ 修正再表示 ： 無
（注）「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「2.サマリー情報（注記事項）に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	25年3月期3Q	23,652,550 株	24年3月期	23,652,550 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	992,635 株	24年3月期	992,186 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	25年3月期3Q	22,660,122 株	24年3月期3Q	22,660,428 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示
この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項
（将来に関する記述等についてのご注意）
本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要や底堅さを維持する個人消費等を背景に、緩やかな回復傾向を示す一方で、円高や電力供給の制約に加え、就業環境の停滞等、景気の下振れリスクを内包する状況で推移いたしました。また、欧米財政問題や、中国ほか新興国における景気減速が鮮明になるなど、海外経済においても依然として先行き不透明な環境は続いており、その感は一層強まる状況を呈しております。

このような事業環境のもと、当社グループでは、先の震災により大きな影響を被った「海藻」をはじめとする主力事業での「復旧・復興」を果たし、着実な成果獲得を目指すべく、４月の新事業年度の開始とともに平成27年３月までの３年間を対象として策定した「中期経営計画」への取り組みを本格化してまいりました。

上記の結果、当第３四半期連結累計期間の業績につきましては、経済減速に歯止めがかからない欧州地域における水産加工品が低調に推移したこともあり、海外事業での減少はありましたが、国内においては市販ドレッシングが前期終盤から引き続き伸長したことに加え、震災後の復旧の進捗に合わせて販売を再開した海藻商品の実績化の寄与もあり、売上高は573億38百万円（前年同期比12億7百万円、2.2％増）となりました。

利益面では、前年同期は震災の影響を受け見合わせた販売促進活動について、当期は積極的な展開を図ったことによる経費の増加があったものの、国内食品事業を中心とする売上高の増加に伴う収益の実績化がそれを吸収し、営業利益は29億0百万円（前年同期比5億60百万円、24.0％増）、経常利益は30億12百万円（前年同期比4億20百万円、16.2％増）となりました。

四半期純利益は、特別利益として震災関連での補助金収入3億69百万円などを計上し、特別損失として固定資産圧縮損3億17百万円などを計上しました結果、18億59百万円（前年同期比5億55百万円、42.6％増）となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

（国内食品事業）

『家庭用食品』では、市販ドレッシングが、前期に発売した「くせになるうま塩」、「セレクティあめ色玉ねぎ」が引き続き高い支持を得ていることに加え、「青じそ」に代表される主力レギュラー品についても、積極的な販売プロモーションの奏功もあり、売上は前年同期を大きく上回りました。

前期、震災により大きな影響を被った海藻商品につきましては、グループを挙げての「復旧・復興」に向けた取り組みと積極的な販売促進策により、『家庭用食品』、『業務用食品』ともに売上は前年同期を上回りました。

『加工食品用原料等』でも、ビタミンＥ製品に厳しい原料事情があるものの、ユーザーニーズに的確に対応した改良剤製品が堅調に推移した結果、売上は前年同期を上回りました。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期から35億54百万円（9.3％）増加した418億54百万円となりました。

（国内化成品その他事業）

『化成品（改良剤）』では、食品用ラップ（防曇剤）・家電向けなどの分野が低調な状況であったのに加え、自動車部品および農業用フィルム向けなど期前半において比較的好調に推移した分野に、やや翳りが見られる状況となりました。尚、復興需要が期待された建築資材関連では、未だ顕著な動きは見受けられないまま推移しました。

『その他』の事業では、飼料用油脂の売上が低調に推移し、売上が前年同期を下回りました。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期を若干下回る43億75百万円となりました。

（海外事業）

ユーロ圏での債務問題に端を発する金融不安を背景に、各地域が景気の下振れリスクを内包するなかで、その影響は、これまで高い成長を示してきた新興諸国にも及ぶに至りました。当社事業においては、改良剤製品については前年同期並みの実績を維持したものの、中国の青島福生食品有限公司で取り扱う水産加工品の欧州向け出荷が大きく減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は、前年同期から23億40百万円（16.8％）減少した116億31百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当四半期連結会計期間末の総資産は905億94百万円となり、前連結会計年度末に比べ40億69百万円増加しました。主な増加はたな卸資産40億62百万円、受取手形及び売掛金12億21百万円、投資有価証券9億0百万円、有形固定資産5億75百万円であり、主な減少は現金及び預金28億50百万円であります。

負債は319億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億35百万円増加しました。主な増加は短期借入金14億28百万円、支払手形及び買掛金6億41百万円、未払法人税等5億25百万円であり、主な減少はその他流動負債（設備投資にかかる支払債務の減少など）6億57百万円であります。

純資産は585億97百万円となり、前連結会計年度末に比べ22億33百万円増加しました。利益剰余金は四半期純利益の計上18億59百万円、配当金の支払8億15百万円により10億44百万円増加し、その他有価証券評価差額金は6億32百万円、為替換算調整勘定は4億23百万円増加しました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間の業績は概ね予定通りに推移しており、通期の業績につきましては、現時点では、平成24年10月29日に発表いたしました業績予想と変更はございません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想値と異なる場合があります。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

（税金費用の計算）

税金費用については、当第３四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成24年４月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第３四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ28百万円増加しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	15,710	12,860
受取手形及び売掛金	19,896	21,118
有価証券	815	986
商品及び製品	5,337	6,229
仕掛品	2,776	3,925
原材料及び貯蔵品	4,648	6,669
その他	1,932	1,840
貸倒引当金	△15	△13
流動資産合計	51,101	53,616
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,251	11,229
機械装置及び運搬具（純額）	7,515	7,474
その他（純額）	4,277	4,915
有形固定資産合計	23,044	23,619
無形固定資産	721	785
投資その他の資産		
投資有価証券	10,004	10,905
その他	1,663	1,684
貸倒引当金	△10	△17
投資その他の資産合計	11,657	12,573
固定資産合計	35,423	36,978
資産合計	86,524	90,594

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,938	10,580
短期借入金	8,710	10,138
未払法人税等	93	618
引当金	830	254
その他	6,369	5,711
流動負債合計	25,941	27,303
固定負債		
長期借入金	234	183
退職給付引当金	1,731	1,886
その他	2,253	2,623
固定負債合計	4,219	4,693
負債合計	30,161	31,996
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,537	2,537
資本剰余金	2,466	2,466
利益剰余金	52,315	53,359
自己株式	△2,578	△2,579
株主資本合計	54,741	55,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,662	3,295
繰延ヘッジ損益	28	15
為替換算調整勘定	△1,405	△982
その他の包括利益累計額合計	1,285	2,328
少数株主持分	337	484
純資産合計	56,363	58,597
負債純資産合計	86,524	90,594

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	56,131	57,338
売上原価	40,447	40,060
売上総利益	15,683	17,277
販売費及び一般管理費	13,343	14,376
営業利益	2,340	2,900
営業外収益		
受取利息	31	25
受取配当金	263	262
為替差益	117	24
その他	131	104
営業外収益合計	543	417
営業外費用		
支払利息	264	246
その他	27	58
営業外費用合計	292	305
経常利益	2,591	3,012
特別利益		
投資有価証券売却益	0	20
受取補償金	274	－
補助金収入	－	369
その他	20	6
特別利益合計	294	396
特別損失		
固定資産除却損	75	40
固定資産圧縮損	－	317
減損損失	－	51
投資有価証券評価損	110	36
災害による損失	412	－
その他	3	29
特別損失合計	601	474
税金等調整前四半期純利益	2,285	2,934
法人税等	958	1,056
少数株主損益調整前四半期純利益	1,326	1,877
少数株主利益	22	17
四半期純利益	1,304	1,859

（四半期連結包括利益計算書）
（第３四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	1,326	1,877
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81	632
繰延ヘッジ損益	△0	△12
為替換算調整勘定	△551	451
その他の包括利益合計	△470	1,072
四半期包括利益	856	2,949
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	871	2,902
少数株主に係る四半期包括利益	△15	46

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自平成23年４月１日　至平成23年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	国内食品事業	国内化成品その他事業	海外事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	38,283	4,402	13,444	56,131	－	56,131
セグメント間の内部売上高又は振替高	16	－	527	543	(543)	－
計	38,300	4,402	13,972	56,674	(543)	56,131
セグメント利益	1,816	301	389	2,507	(167)	2,340

（注）１．セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△222百万円、棚卸資産の調整額54百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自平成24年４月１日　至平成24年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	国内食品事業	国内化成品その他事業	海外事業	合計		
売上高						
外部顧客への売上高	41,843	4,375	11,119	57,338	－	57,338
セグメント間の内部売上高又は振替高	11	－	511	523	(523)	－
計	41,854	4,375	11,631	57,861	(523)	57,338
セグメント利益	2,748	333	191	3,273	(372)	2,900

（注）１．セグメント利益の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△266百万円、棚卸資産の調整額△106百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。
２．セグメント利益は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
（固定資産に係る重要な減損損失）
報告セグメントに係る該当事項はありません。なお、当第３四半期連結累計期間において、四半期連結損益計算書の特別損失に計上しております減損損失51百万円は、いずれの報告セグメントにも配分されていない遊休資産の地価下落によるものです。